

情報〈情報〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
オフィス情報処理 2		11513	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
渡辺 卓也	選択	2			

### 授業の到達目標

ビジネス実務に必要とされる基本的なデータ処理能力を養成することを目標とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）を養う。

### 授業の概要

情報リテラシー2で学習したことを元にさらに応用的なデータ処理を学習する。学習の動機付けとして、日商PC検定3級（データ活用）の取得を目指す。

### 授業計画

- 1 エクセルの基本操作確認
- 2 四則演算復習
- 3 関数練習
- 4 関数練習
- 5 集計について
- 6 集計について
- 7 まとめ
- 8 日商PC検定3級データ活用対策
- 9 日商PC検定3級データ活用対策
- 10 日商PC検定3級データ活用対策
- 11 日商PC検定3級データ活用対策
- 12 日商PC検定3級データ活用対策
- 13 日商PC検定3級データ活用対策
- 14 日商PC検定3級データ活用対策
- 15 確認演習

### 授業の方法

日商PC検定3級（データ活用）の合格を目指し、実技対策と知識対策をしていく。

### 準備学修

Webを参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

### 欠席について

欠席が5回を超えた場合は不合格とする。

### テキスト

日商PC検定試験データ活用3級公式テキスト&問題集（ver2019対応） FOM出版

### 留意事項

情報リテラシー2を受講していること。テキストは必ず持参すること。

外国語〈外国語〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
英語 1		11601	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
宮副 紀子	選択	1			

### 授業の到達目標

このクラスでは、英文をより正確に早く読めるようになるための演習を行う。使用するテキストは、比較的平明な英文毎に習得すべきスキルが提示されており、さまざまなexerciseを行いながら、徐々に速読力と語彙力を身につけることを目標とする。

同時に、楽しく多読を行いながら、英語で読書レポートを作成し、Writing力を伸ばすことを目指す。

このクラスでは、KAISEIパーソナリティのIn（国際性）とA（自律）を養う。

### 授業の概要

復習に重点をおき、授業内で読解した箇所については、細部まで読み直し、速読だけに終わるのではなく内容の深部まで理解できるようにする。さらに、学生の自主学習として、（図書館に配架されている）多読テキストを楽しく読み、読解後に英語で読書レポートを提出し、読書発表も行う。

### 授業計画

- 1 Introduction
- 2 Unit 1 Chapter 1 "For Better Grades—Use Your Brain!"
- 3 Unit 1 Chapter 2 "Oh, No! Not Another Test!"
- 4 Unit 2 Chapter 1 "We're in Vietnam!"
- 5 Unit 2 Chapter 2 "Safe Travel!"
- 6 Unit 3 Chapter 1 "Behind the Scenes"
- 7 Unit 3 Chapter 2 "The Rise of J.J.Abrams"
- 8 Review Quiz  
多読発表
- 9 Unit 4 Chapter 1 "Laura Dekker: Record-Setter!"
- 10 Unit 5 Chapter 1 "You Are Amazing You Are Human!"
- 11 Unit 6 Chapter 2 "Moving from TV to the Web"
- 12 Fluency Practice "The Film and the Novel: Twilight"
- 13 Unit 6 Chapter 2 "Moving from TV to the Web"
- 14 Fluency Strategy "Movies for the Blind"
- 15 Review Quiz  
多読の発表

### 授業の方法

テキストにより、英文をより正確に早く読むための演習を行う。各自が授業外において多読を行い、毎週、読書レポートを提出し、春学期において2回の多読書についての発表を行う。（図書館所蔵の多読書を利用する。）

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点20% 多読（レポートと発表）40% Review Quiz 40%  
小テスト、および Review Quizは授業内でフィードバックを行う。

### 欠席について

出席を重視する。欠席、および遅刻（早退）は減点される。規定に従う。

### テキスト

Neil J. Anderson, Active 2 (Third Edition) – Skills for Reading, Cengage Learning K.K (2013)

### 参考図書

必要に応じて指示する。

### 留意事項

平常点には、授業参加・貢献度、および出席状況の評価が含まれる。授業と課題に熱心に取り組む姿勢を重視する。

外国語〈外国語〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
英語 2			11605	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
宮副 紀子	選択	1				

**授業の到達目標**

このクラスでは、英語1に続き、英文をより正確に早く読めるようになるための演習を行う。使用するテキストは、比較的平明な英文毎に習得すべきスキルが提示されており、さまざまなexerciseを行いながら、徐々に速読力と語彙力を身につけることを目標とする。同時に、楽しく多読を行いながら、英語で読書レポートを作成し、Writing力を伸ばすことを目指す。このクラスでは、KAISEIパーソナリティーのIn（国際性）とA（自律）を養う。

**授業の概要**

復習に重点をおき、授業内で読解した箇所については、細部まで読み直し、速読だけに終わるのではなく内容の深部まで理解できるようにする。さらに、学生の自主学習として、（図書館に配架されている）多読テキストを楽しく読み、読解後に英語で読書レポートを提出し、読書発表も行う。

**授業計画**

- 1 Introduction
- 2 Unit 7 Chapter 1 "Sounds from the Past"
- 3 Unit 7 Chapter 2 "For the Record: Album Reviews"
- 4 Unit 8 Chapter 1 "The Right Job for Young Personality"
- 5 Unit 9 Chapter 1 "A Brief History of Chocolate"
- 6 Unit 9 Chapter 2 "The Truth about Chocolate"
- 7 Review Quiz  
多読の発表
- 8 Unit 10 Chapter 1 "Ads Are Everywhere"
- 9 Unit 10 Chapter 2 "Brand Engagement Gone Wrong"
- 10 Unit 11 Chapter 1 "Engineering a Better Burger"
- 11 Unit 12 Chapter 1 "Clean Up Australia, Clean Up the World"
- 12 Unit 12 Chapter 2 "Resources for the Future"
- 13 Fluency Practice "The People Behind the Music"
- 14 Fluency Practice "The Life of a Food Critic"
- 15 Review Quiz  
多読の発表

**授業の方法**

テキストにより、英文をより正確に早く読むための演習を行う。各自が授業外において多読を行い、毎週、読書レポートを提出し、春学期において2回が多読書についての発表を行う。（図書館所蔵の多読書を利用する。）

**準備学修**

Webで参照すること。

**課題・評価方法、その他**

平常点20% 多読（レポートと発表）40% Review Quiz 40%  
小テスト、および Review Quizは授業内でフィードバックを行う。

**欠席について**

出席を重視する。欠席、および遅刻（早退）は減点される。規定に従う。

**テキスト**

Neil J. Anderson, Active 2 (Third Edition) – Skills for Reading, Cengage Learning K.K (2013)

**参考図書**

必要に応じて指示する。

**留意事項**

平常点には、授業参加・貢献度、および出席状況の評価が含まれる。授業と課題に熱心に取り組む姿勢を重視する。

外国語〈外国語〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
英語 3			11609	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
石原 敬子	選択	1				

**授業の到達目標**

英文を理解した上で分かりやすく音読するスキルを身につけることを主な目標とする。このクラスではKAISEIパーソナリティーのIn（国際性）、I（知性）を養い、K（思いやり）を考える。

**授業の概要**

英語の絵本を用いて、聞き手に分かりやすく音読をする練習を中心に行う。さらに物語に込められたメッセージを読み取り、概要を自分の言葉で簡潔に英語でまとめる練習をする。また、3行日記の課題を通して、日常的に使用する英語表現・語彙を学習し、英語の一般的な運用能力を高める。

**授業計画**

- 1 Course Introduction / English Rhythm
- 2 Phonics 1
- 3 Phonics 2
- 4 Story 1-1
- 5 Story 1-2
- 6 Story 1-3  
Presentation of Story 1
- 7 Story 2-1
- 8 Story 2-2
- 9 Story 2-3  
Summary and presentation of Story 2
- 10 Story 3-1
- 11 Story 3-2
- 12 Story 3-3  
Summary and presentation of Story 3
- 13 Story 4-1
- 14 Story 4-2
- 15 Story 4-3  
Summary and presentation of Story 4
- 16 Wrap-up  
Exam

**授業の方法**

日常的な英語表現を用いたリズムの学習、前週の復習、英語で書か

れた物語を用いた音読練習を中心に授業を進める。一つの物語を読む毎に、物語に込められたメッセージを読み取り、概要を自分の言葉で簡潔に英語でまとめる。

**準備学修**

Webで参照すること。

**課題・評価方法、その他**

平常点60%、定期試験40%  
3行日記は週3回以上記入し提出、確認後に返却する。小テストや発表については、講義の中でフィードバックを行う。

**欠席について**

1) 課題の提出がされない又はテストを欠席した場合は、当該評価点を「0」とする。2) 欠席した場合、当該授業の内容・課題の有無を自分の責任で確認すること。

**テキスト**

追って通知する。

**参考図書**

必要に応じて指示する。

**留意事項**

授業・課題に取り組む積極性を重視する。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅲ	c		13109	Ⅳ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
宮副 紀子	必修	2				

### 授業の到達目標

演習Ⅰ、Ⅱで学んだ内容より、英米文学をより正確に深く読み取れるよう、日々、英米文学作品に親しむ。  
さらに、各自が定めたテーマについて、より適切な書籍や論文等の資料を収集し、丁寧に調査を行い、論の裏付けとなる根拠やデータを明確にして、論理的に文章として表現することを目指す。かつ、聴き手が正確に理解できるような研究発表ができるよう、発表の演習も行う。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）、I（知性）、In（国際性）を養う。

### 授業の概要

演習Ⅰ、Ⅱで学んだ基礎力をもとに、各自が決定した研究のための資料、データ、先行論文等を調査、分析を行い、授業内において、各自が作成した論文を発表し、それについてゼミの全員でディスカッションを行う。  
また、昨年に続き、英米文学やエッセイなどの原書や時事ニュースを読解することにより、英語力の向上を図る。毎授業において、発表とディスカッションを行うので、授業準備を万全に行うことが必須である。

### 授業計画

- 1 イントロダクション  
卒業研究について発表する。
- 2 課題の発表
- 3 課題の発表
- 4 課題の発表
- 5 課題の発表
- 6 課題の発表
- 7 課題の発表
- 8 課題の発表
- 9 課題の発表
- 10 課題の発表
- 11 課題の発表
- 12 課題の発表
- 13 課題の発表
- 14 課題の発表
- 15 最終発表を行う。

まとめ

### 授業の方法

個人研究の発表とディスカッションを中心に行う。  
発表毎にレポートを提出する。

### 準備学修

Webを参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点 30%、発表 40%、レポート 30%  
課題、発表のフィードバックは授業中に行う。レポートは個別にフィードバックする。

### 欠席について

出席を重視する。欠席1回について平常点より4点減点する。  
規定に従う。

### テキスト

ハンドアウトを使用する。

### 参考図書

必要に応じて指示する。

### 留意事項

授業には積極的に参加し、発表と毎回のレポート提出が必須である。  
出席を重視する。  
平常点には、授業参加・貢献度、および出席状況の評価が含まれる。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅲ	d		13109	Ⅳ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
酒井 新一郎	必修	2	旅行会社勤務			

### 授業の到達目標

観光ビジネスによる地域創生及び観光地マネージメントを通じて観光の持つ力について理解を深め、個人研究のテーマについて研究を深めていく。個人研究のテーマは観光領域全般とし各個人のテーマを設定する。研究テーマのキーワードはインバウンド、MICE、旅行ビジネス、航空ビジネス、IR、地方創生、環境ツーリズム。各個人の研究テーマを深め、卒業研究作成を到達目標とする。このクラスはKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）を養う。

### 授業の概要

観光ビジネスが地域創生にどのように活用され、また将来、観光ビジネスが期待されることについて考察を深める。各個人の研究テーマについて、個人の研究発表とディスカッションを中心に講義を進める。ゼミ生による積極的な討論により、各自の研究テーマの内容を深めていく。

### 授業計画

- 1 ガイダンスと個人研究の進め方
- 2 個人研究テーマの発表
- 3 個人研究発表とディスカッション
- 4 個人研究発表とディスカッション
- 5 個人研究発表とディスカッション
- 6 個人研究発表とディスカッション
- 7 個人研究発表とディスカッション
- 8 個人研究発表とディスカッション
- 9 個人研究発表とディスカッション
- 10 個人研究発表とディスカッション
- 11 個人研究発表とディスカッション
- 12 個人研究発表とディスカッション
- 13 個人研究発表とディスカッション
- 14 個人研究発表とディスカッション
- 15 まとめ

### 授業の方法

各自の研究テーマについて発表とディスカッションを行い、研究内容の課題について確認し考察を深める。

### 準備学修

Webで参照すること

### 課題・評価方法、その他

授業出席、レポート、発表、ディスカッションなどの取り組み状況を総合的に判断し成績評価する。

### 欠席について

大学の規定通り。

### テキスト

必要に応じて配布する。

### 参考図書

適宜紹介する。

### 留意事項

発表者は欠席してはならない。各自個人研究テーマについて積極的に取り組むこと。またディスカッションにも積極的に参加すること。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅳ	b		13113	Ⅳ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
箕野 聡子	必修	2				

### 授業の到達目標

観光とは、ただ、視覚的に資源を披露することではない。訪れる側と迎える側とが、それぞれの地域や人を理解し合うことである。その理解の中心となる文化について研究し、観光が平和産業と呼ばれる理由を知る。このクラスはKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）とを養う。

### 授業の概要

日本の文化・文学が観光資源としてどのように受容され、また、再生・活用されているかを考える。文学・歴史・風俗習慣など、各自が興味あるテーマを選び研究することで、その文化を国外に、また、国内に紹介する意義を考察する。

### 授業計画

- 1 個人課題の研究発表・討論・講評
- 2 個人課題の研究発表・討論・講評
- 3 個人課題の研究発表・討論・講評
- 4 個人課題の研究発表・討論・講評
- 5 個人課題の研究発表・討論・講評
- 6 個人課題の研究発表・討論・講評
- 7 個人課題の研究発表・討論・講評
- 8 個人課題の研究発表・討論・講評
- 9 個人課題の研究発表・討論・講評
- 10 個人課題の研究発表・討論・講評
- 11 個人課題の研究発表・討論・講評
- 12 個人課題の研究発表・討論・講評
- 13 個人課題の研究発表・討論・講評
- 14 個人課題の研究発表・討論・講評
- 15 卒業研究 口頭試問

### 授業の方法

各人が興味を持ったテーマで発表を行い、それをメンバー全員で討議する。

### 準備学修

Web参照すること。

### 課題・評価方法、その他

出席状況（30%）、発表（30%）、レポート（40%）により評価する。提出されたレポートは、教員が指導してフィードバックする。

### 欠席について

規定に従う

### テキスト

必要に応じて配布する

### 参考図書

必要に応じて紹介する

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅳ	c		13113	Ⅳ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
宮副 紀子	必修	2				

### 授業の到達目標

海外、および日本の文化や社会的事情に常に関心をもち、それらを詳しく調査、分析を行い考察することが重要である。たとえ日本文化に属する研究内容であっても、現在のような情報化社会においては、海外の資料や情報が欠かせない。各自が定めたテーマについて調査をし、裏付けとなる根拠やデータを明確にして、論理的に文章として表現し、発表する。最終的に卒業研究としてまとめる。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）、I（知性）、In（国際性）を養う。

### 授業の概要

各自の興味のあるテーマについて、国内のみならず海外の資料も入手して、丁寧な調査を行い、論理的思考を身につけ、卒業研究を書き上げる。授業では、各自の研究について発表とディスカッションを行うので授業準備を万全に行うことが必須である。

### 授業計画

- 1 イントロダクション  
研究発表
- 2 卒業研究の発表とディスカッション
- 3 卒業研究の発表とディスカッション
- 4 卒業研究の発表とディスカッション
- 5 卒業研究の発表とディスカッション
- 6 卒業研究の発表とディスカッション
- 7 卒業研究の発表とディスカッション
- 8 卒業研究の発表とディスカッション
- 9 卒業研究の発表とディスカッション
- 10 卒業研究の発表とディスカッション
- 11 卒業研究の発表とディスカッション
- 12 卒業研究の発表とディスカッション
- 13 卒業研究の発表とディスカッション
- 14 総まとめ  
口頭試問について
- 15 総まとめ

### 授業の方法

各自が選んだテーマについて、国内、および海外の書物、文献、論

文などの資料を収集し、正確に読解する。各自で論を構成できるよう論理的思考が身につける。授業では、各自の発表後にクラス内でのディスカッションを行う。

### 準備学修

Webを参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点 30%、発表 40%、レポート 30%

### 欠席について

出席を重視する。欠席1回について平常点より4点減点する。規定に従う。

### テキスト

必要に応じて配布する。

### 参考図書

必要に応じて指示する。

### 留意事項

授業には積極的に参加し、発表と毎回のレポート提出が必須である。出席を重視する。平常点には、授業参加・貢献度、および出席状況の評価が含まれる。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

基礎科目〈コア・イングリッシュ〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
TOEIC/TOEFL入門 1			13806	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
宮副 紀子	必修	1				

### 授業の到達目標

TOEIC (R) Listening & Reading Testスコア400点到達を目指す。そのために必要な英語力（語彙力、読解力、リスニング力）の習得と問題への取り組み方、学習のコツを身につける。またTOEFL受験のための英語力強化を目指す。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）、およびA（自律）を養う。

### 授業の概要

到達目標を目指し、文法事項の復習、リスニング力、語彙力、読解力の育成を行う。基本的な読解力向上のために多読（図書館に配架されている楽しく読みやすい多読書を読む）を行う。多読書1冊読解毎に読書レポートを作成する。また、TOEICの問題形式に慣れるために、テキストだけでなく、他のTOEICテスト形式の問題演習も実施する。

### 授業計画

- 1 Introduction
- 2 Unit 1 Shopping
- 3 Unit 1 Shopping
- 4 Unit 2 Transportation/ Street Scenes
- 5 Unit 2 Transportation/ Street Scenes
- 6 Unit 3 Travel
- 7 Unit 3 Travel
- 8 Review Quiz  
Listeningのためのニュース動画、またはDVD鑑賞
- 9 Unit 4 Restaurants/ Cooking
- 10 Unit 4 Restaurants/ Cooking
- 11 Unit 5 Health
- 12 Unit 5 Health
- 13 Unit 6 In the Office
- 14 Unit 6 In the Office
- 15 総復習  
Review Quiz

### 授業の方法

授業内容の復習は必須である。毎週、1冊以上多読書を読み、読書レポートを提出する。小テスト、およびReview Quizを実施する。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点30%、定期試験（小テスト含む）40% 多読30%  
小テスト、および Review Quizは授業内でフィードバックを行う。

### 欠席について

欠席1回につき、平常点から3点減点する。  
規定に従う。

### テキスト

Mastery Drills for the TOEIC® L&R Test, Revised Edition>新形式対応！（Cengage Learning）、Basic Grammar in Use（Cambridge University Press）

### 参考図書

授業時に必要に応じて紹介する。

### 留意事項

平常点には、授業参加・貢献度、および出席状況の評価が含まれる。  
授業と課題に熱心に取り組む姿勢を重視する。  
英和辞書（紙版、電子辞書）を必ず持参すること。

基礎科目〈コア・イングリッシュ〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Pronunciation 104			13908	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
石原 敬子	必修	2				

### 授業の到達目標

英語の音声的特徴、特に聞き手が理解する上で重要な英語特有のリズム（語強勢、文強勢、文のフォーカス）及び日本語に無い英語の音素の特徴を理解し、実践できるようにする。また教職課程履修者が、中学校及び高等学校の生徒が理解しやすい英語の発音を身につけることも目標とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）とIn（国際性）を養う。

### 授業の概要

英語の音声に関する理論的学習と実践的訓練を行う。「伝わる」英語の発話及び聴解力の向上を目指し、クリアな発話の鍵となるポイントや、英語学習者が苦勞しがちな英語の音声的特徴を学ぶ。特に「内容を伝える」ために重要な役割を持つリズムを体得する訓練を重点的に行う。実践的に聴いて繰り返し練習をするだけでなく、理論的に理解をすることで、初めて読む英文でも分かりやすく読むことができるようになることを目指して学修する。

### 授業計画

- 1 導入（英語学習における発音学習の位置づけ、事前診断テスト）
- 2 事前診断テスト解答解説と練習
- 3 音節（音節とリズム、カタカナ語と英語の音節数の違い）
- 4 音節（語の音節数、現在形と過去形の音節数の違い）
- 5 母音（アルファベット読みとフォニックス読み）
- 6 英語特有の子音（アルファベット読みとフォニックス読み）
- 7 語強勢（強勢と母音の長さ）
- 8 語強勢（強勢と母音の音色、押韻）
- 9 語強勢（語強勢の法則）
- 10 文強勢（内容語と機能語、品詞）
- 11 文強勢（文の内容に即した強勢）
- 12 文強勢（強勢の付く機能語）
- 13 その他の子音（日本語との違い）
- 14 文章の音読
- 15 練習、復習、まとめ

### 授業の方法

実践的な発音・聴き取り訓練と講義を合わせて行う

### 準備学修

Webで参照すること

### 課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%  
課題に対するフィードバック：小テストは翌週に返却、音読素材については講義内で口頭又は翌週以降に紙面にてフィードバックをする

### 欠席について

- 1) 課題の提出がされない又はテストを受けない場合は、当該評価を「0」とする。
- 2) 欠席をした場合、当該授業の内容・課題の有無を自分の責任で確認すること。

### テキスト

Judy B. Gilbert, Clear Speech: Basic Pronunciation and Listening Comprehension, 4th ed. CUP.

### 留意事項

発音の習得は、各自の耳と口を駆使しなければ不可能である。上達させるために練習を繰り返すこと、また授業中も積極的に声を出すことが求められる。

基幹科目〈英語・言語・文化〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
児童文学	ET	13501	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
宮副 紀子／箕野 聡子	選択	2	私立中学高等学校教員(科目「社会」)(箕野) 私立中学高等学校教員(科目「英語」)(宮副)		

### 授業の到達目標

初等国語の一貫として、児童文学を学ぶことにより、文化におけるこども観を理解するとともに、文学作品の読解力を養うことを目的とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのI(知性)を養う。(箕野)

すぐれた児童文学は普遍的テーマを有しており、子どもだけでなく大人にも深い感動を与えてくれる。海外の代表的な児童文学を鑑賞することにより、様々な視点から文学を読解する力を養うことを目的とする。KAISEIパーソナリティのA(自律)とI(知性)、In(国際性)を養う。(宮副)

### 授業の概要

日本の近現代児童文学を取り上げる。日本の児童文学は、初めは大人の側に立ったものであった。そこには、発表当時の日本文化が反映され、大人が子どもに求めた理想がわかりやすい言葉で表現されている。児童文学がそのような観念から脱し、子どもの世界を獲得していく様子を考察する。(箕野)  
英米の児童文学の文化と歴史を学びながら英米の代表的な児童文学作品について考察する。また英米以外ではフランスの1作品を鑑賞する。(宮副)

### 授業計画

- 1 巖谷小波「日本昔噺其一 桃太郎」
- 2 「金太郎」・「酒呑童子伝説」
- 3 宮沢賢治「銀河鉄道の夜」
- 4 有島武郎「一房の葡萄」
- 5 与謝野晶子「きんぎょのおつかい」
- 6 岡田淳「童退治の騎士になる方法」
- 7 日本の現代児童文学について
- 8 英米の児童文学の歴史
- 9 ルイス・キャロル『不思議の国のアリス』
- 10 ナーサリーライム(マザーグース)
- 11 L.M.オルコット『若草物語』
- 12 R.L.スティーブンソン『宝島』
- 13 L.F.ボーム『オズの魔法使い』
- 14 ペアトリクス・ポター『ピーターラビットのおはなし』と代表的な絵本

15 アントワーン・ド・サン＝テグジュペリ『星の王子様』

### 授業の方法

講義中心の授業である。必要に応じて映像鑑賞も行う。(箕野)  
講義と発表形式で授業を実施する。講義だけでなく、学生の発表、およびグループディスカッションにより授業をすすめる。(宮副)

### 準備学修

Web参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験(レポート)30%で評価する。また、毎回ノートの提出を求める。ノートは、次の週に教員が評価して返却する。(箕野)

平常点30% レポート(2回)60% 提出物等10%、で評価する。(宮副)

レポートは2回であるが、ミニレポートの提出も2～3回求める。

### 欠席について

規定に従う。

### テキスト

随時、プリントを配布する。(箕野)  
『英米児童文化 55のキーワード』白井澄子、笹田裕子編著 ミネルヴァ書房、および、プリントを配布する。(宮副)

### 参考図書

必要に応じて、授業中に随時紹介する。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

基幹科目〈英語・言語・文化〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
インターンシップ(海外)		13967	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
佐伯 瑠璃子	選択	2			

### 授業の到達目標

海外で就業体験をすることで、自国の文化のみならず他国の文化をも理解し、異文化との交流を通してグローバルな精神を培い、相手の考えに耳を傾け、自分の意見を発信しながらコミュニケーション能力を高める。実践的な活動を通し、将来の職業選択に備え自らの適性・能力を知る機会とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのA(自律)、In(国際性)とS(奉仕)を養う。

### 授業の概要

興味のある学生は登録のうえ、選択するプログラムをメールで連絡すること。  
下記プログラムはコロナ後開催が確約されていないものもある。留学関係の情報を掲示板及び、4月と10月に開催される留学説明会にて確認すること。

【アシスタント・ティーチャープログラム】  
英語圏の幼稚園や公立小学校で、専任教員のアシスタントとして子どもたちの指導に携わる。

開催国及び開催時期の情報は随時更新される。

・対象学科・学年：ET学科、PC学科2年次生以上

・期間：春季休暇中または夏季休暇中10日間以上

【イベントコース：まつりインハワイ】

「まつりインハワイ」の運営業務、「旅行管理主責任・取得研修」プログラム。

・対象学科・学年：ET学科2年次生以上

・期間：6月中旬の1週間と国内における3回の事前研修

・現在新型コロナウイルスの影響により開催未定。

### 授業計画

- 1 事前学習
- 2 事前学習
- 3 現地実習
- 4 現地実習
- 5 現地実習
- 6 現地実習
- 7 現地実習
- 8 現地実習
- 9 現地実習

10 現地実習

11 現地実習

12 現地実習

13 現地実習

14 現地実習

15 ポートフォリオの提出(日報、レポートなど)及び発表

### 授業の方法

各自に設定されたプログラムに従うインターンシップ

### 準備学修

原則としてTOEIC400点以上を取得し、プログラム参加に必要な最低限の英語力をつけておくこと。

### 課題・評価方法、その他

課題は委託機関の基本方針に基づいて実施され、詳細は委託機関及び本学による。

各々のインターンシップは原則以下のプログラムによって構成される。

①2～3回の事前学習(英語研修や実習準備など)

②現地実習

③ポートフォリオの提出(日報、レポートなど)と発表

### 欠席について

事前学習は必ず出席しなければならない。  
欠席となった場合は必ず補講に出席すること。

### テキスト

適宜紹介する。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

展開科目〈英語・言語・文化〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Reading 601		13949	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
宮副 紀子	選択	2			

### 授業の到達目標

Locate and understand main ideas and details, show increasing ability to understand readings using skills such as skimming, scanning, and pronoun reference. Write main idea sentences. Express opinions about readings. Develop intelligence and autonomy.

### 授業の概要

The purpose of this class is to develop vocabulary skills and reading, including skimming and scanning, taking notes, predicting, and cause and effect.

### 授業計画

- 1 Introduction
- 2 Chapter 8 A Young Blind Whiz
- 3 Chapter 8 A Young Blind Whiz
- 4 Chapter 9 How to Make a Speech
- 5 Chapter 9 How to Make a Speech
- 6 Chapter 10 Conversational Ball Games
- 7 Chapter 10 Conversational Ball Games
- 8 Mid Term
- 9 Chapter 11 Letters of Application
- 10 Chapter 11 Letters of Application
- 11 Chapter 12 Out to Lunch
- 12 Chapter 12 Out to Lunch
- 13 Chapter 13 Public Attitudes Toward Science
- 14 Chapter 13 Public Attitudes Toward Science
- 15 Review

### 授業の方法

Students will work individually, in pairs and in groups

### 準備学修

Be familiar with the textbooks: preview and review

### 課題・評価方法、その他

Your final grade will be determined using the following scale:

Final Exam	40%
Tests and Quizzes	30%
Class Participation	20%
Homework	10%

### 欠席について

As stated in university guidelines, 100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

### テキスト

Oxford, Select Readings Intermediate, 2nd edition. Linda Lee & Erik Gundersen  
Patricia MachLachlan (1985). *Sarah, Plain and Tall* (西出公之編註) (1995). 『のっぽのサラ』成美堂.

### 参考図書

Will be assigned as needed

### 留意事項

Active participation is essential

展開科目〈英語・言語・文化〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Writing 602		13951	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
Cory McKENZIE	選択	2			

### 授業の到達目標

In this class, students will develop a sense of internationality and autonomy.

### 授業の概要

Upon completion of this course, students will be able to: demonstrate increasing control of grammar, vocabulary, punctuation, and spelling skills, write a paragraph with adequate support, demonstrate increasing ability to recognize and write introductory, body, and concluding sentences, understand and utilize the writing process, explain a process, and write about spatial order, time order, and order of importance.

### 授業計画

- 1 Introduction
- 2 Unit 10 Cause and Effect Paragraph
- 3 Unit 10 Cause and Effect Paragraph
- 4 Unit 11 Persuasive Paragraph
- 5 Unit 11 Persuasive Paragraph
- 6 Unit 12 Problem-Solution Paragraph
- 7 Unit 12 Problem-Solution Paragraph
- 8 Mid Term
- 9 Unit 13 About the Essay
- 10 Unit 13 About the Essay
- 11 Unit 14 Changing a Paragraph into an Essay
- 12 Unit 14 Changing a Paragraph into an Essay
- 13 Unit 15 Writing an Essay from the Beginning
- 14 Unit 15 Writing an Essay from the Beginning
- 15 Review

### 授業の方法

Students will work in groups and individually

### 準備学修

Be familiar with the textbook: preview and review

### 課題・評価方法、その他

Your final grade will be determined using the following scale:

Final Report	20%
Tests and Quizzes	10%
Class Participation	20%
Homework	50%

### 欠席について

As stated in university guidelines, 100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

### テキスト

Cengage Learning Basic Steps to Academic Writing--From Paragraph to Essay, Matthew Taylor & David Kluge

### 参考図書

Will be assigned as needed

### 留意事項

Active Participation is essential

展開科目〈英語・言語・文化〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
ビジネス翻訳		13621	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
樫本 雄三	選択	2	テクニカルライター、実務翻訳者		

### 授業の到達目標

文芸翻訳とは異なる実務翻訳の特徴を理解し、ビジネス文書、業務資料、観光パンフレットなどの和文英訳ができるようになるための、訳文作成技術と背景知識を取得する。このクラスではKAISEI パートナリティのI（知性）とIn（国際性）を目指す。

### 授業の概要

和文英訳の技術を説明し、新聞や雑誌などの実際の文書を使って演習を行う。毎回授業内容に基づいた宿題を課し、翌週の授業でその説明を行う。翻訳に必要な背景知識の調査方法の習得も行う。

### 授業計画

- 1 授業の概要/実務翻訳の特徴
- 2 和文英訳の基本技術/ライティングの3C
- 3 可算名詞、不可算名詞/定冠詞、不定冠詞
- 4 強い動詞/自動詞と他動詞
- 5 無生物主語/冗長な英文
- 6 分詞構文
- 7 英文説明書の表現
- 8 英文手順書の表現
- 9 プレゼンテーションの英文
- 10 英文表記規則
- 11 簡潔な表現
- 12 英文リライト
- 13 和文英訳演習
- 14 和文英訳演習
- 15 翻訳支援ツール/AI自動翻訳

### 授業の方法

訳文作成と翻訳内容の検討を中心とする。翻訳に必要な背景知識の説明も行う。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

課題の提出を求め、授業中にフィードバックを行う。定期試験を行わず、最終レポートおよび平常点により評価を行う。

### 欠席について

欠席した回も、その回の課題を提出すれば考慮する。

### テキスト

特定のテキストを使用せず、英字新聞、英文雑誌、インターネットニュースなどの記事や各種パンフレットなどを教材にする。

### 参考図書

それわ英語じゃないだらふ、大西泰斗、幻冬舎  
プロが教える基礎からの翻訳スキル、田辺希久子・光藤京子、三修社

### 留意事項

ほぼ毎回課題を宿題として出すので、自分の訳文を作成して授業に参加すること。授業計画の内容や順序は状況により変わることがある。

展開科目〈英語・言語・文化〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
英米文学研究		13521	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
宮副 紀子	選択	2			

### 授業の到達目標

様々な国々とジャンルの英語圏学を楽しく読みながら、文学読解に注目すべき要素やさまざまな表現法を学ぶ。同時に、それらの作品に表現されている海外の文化を理解する。このクラスでは、KAISEI パートナリティのA（自律）、I（知性）、In（国際性）を考える。

### 授業の概要

授業では、Edgar Allan Poe、Charles Dickens、Graham Greene、Ernest Hemingway、Katherine Mansfieldなど著名な作家の短編について解説されたテキストで学ぶとともに、その原書についてもできる限り読みすすめることとする。原書を正確に読解し、それぞれの作品にこめられたテーマを理解することにより深く感動する経験をしてもらいたい。

原書読解する作品については、担当者を決めて発表後、グループディスカッションを実施する。また各作品についてレポートの提出が必須となる。

またDVDなどの視聴覚教材によって「読み、聴き、書く」という英語の3分野のスキルを養成する。

### 授業計画

- 1 Introduction
- 2 1. Edgar Allan Poe/“The Tell-Tale Heart”について
- 3 1.“The Tell-Tale Heart”テキスト内容の理解、発表とディスカッション、
- 4 20. Graham Greene/“The Invisible Japanese Gentlemen”について
- 5 20.“The Invisible Japanese Gentlemen”テキスト内容の理解、発表とディスカッション
- 6 9. Earnest Hemingway/“Hills Like White Elephants”について
- 7 9.“Hills Like White Elephants” テキスト内容の理解、発表とディスカッション、
- 8 13. Irwin Shaw/“The Girls in Their Summer Dresses”について
- 9 13.“The Girls in Their Summer Dresses” テキスト内容の理解、発表とディスカッション
- 10 23. Raymond Carver/“Are These Actual Miles?”について
- 11 23.“Are These Actual Miles?” テキスト内容の理解、発表とディスカッション
- 12 2. Charles Dickens/“Christmas Carol”  
テキスト理解とDVD鑑賞

- 13 7. Katherine Mansfield/“The Garden Patry”
- 14 7.“The Garden Patry”テキスト内容の理解、発表とディスカッション
- 15 総復習 授業内で読んだ作品についてディスカッションを行う。

### 授業の方法

講義と発表形式で授業を実施する。講義だけでなく、学生の発表、およびグループディスカッションにより授業をすすめる。授業内では原書を中心に授業を実施するが、読解が難しい場合は、図書館等で翻訳書を借りて読んでもよい。

### 準備学修

Webを参照する。

### 課題・評価方法、その他

授業内での積極的な発表や意見交換を高く評価する。また、授業内で読解した各作品についてレポートを作成する。平常点30% レポート60% 提出物等10%、で評価する。

### 欠席について

出席重視。授業参加がなければ、レポートをこなすことは困難である。規定に従う。

### テキスト

『TOP 30 - Essential Short Stories in English: 1843 to 2000』 Jim Knudsen著 南雲堂  
および、プリントを配布する。

### 参考図書

必要に応じて、授業中に随時紹介する。

### 留意事項

授業で取り上げる原書の作品、および授業進度は、学生の要望や読解力等により変更することがある。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。



資格科目〈キッズ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
英語科教育法 I			13705	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
天野 史子	選択	2	中学校・高等学校英語科教諭、小学校英語活動支援員			

### 授業の到達目標

小学校・中学校・高等学校における英語学習・指導の知識、授業指導、学習評価の基礎を、次に続く英語科教育法Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの授業との連携も視野に入れて身に付ける。  
英語教師として学習指導を行うための基礎づくりを目指す。英語そのものに関する知識や運用能力を向上させながら、第二言語習得のプロセスや運用のメカニズムに関する基礎知識を学ぶ。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）、I（知性）、In（国際性）、E（倫理）を学ぶ。

### 授業の概要

授業の概要：学習指導要領における「3つの資質・能力」を踏まえた「5つの領域」の指導及び各領域を支える音声、文字、語彙・表現、文法指導についての基礎的な知識及び複数の領域を統合した指導法を、以下の「授業計画」の具体的項目に従って身につける。  
教師にとってもっとも重要なのは、自分に与えられた実際の「教育の場」で最善の方策を生み出す能力であると思われるが、そのためには、実際の英語学習指導にどのようなファクターがどのように作用しているかを見極めることができればならない。それぞれの生徒に各自の持っている潜在能力を学習場面で最大限に発揮させることが教師にとっての重要課題と捉え、学生が積極的に考え、課題発表や実践をしてもらう予定である。

### 授業計画

- 英語教育の目的(1)小・中・高等学校学習指導要領の理解
- 英語教育の目的(2)小・中・高等学校を通じた英語教育の在り方
- 第2言語習得研究(1)学習者の特質:認知的要因
- 第2言語習得研究(2)学習者の特質:情意的要因
- 第2言語習得研究(3)学習者の特質:動機付け
- 英語教材研究(1)音声とつづり字
- 英語教材研究(2)語彙と表現
- 英語教材研究(3)文法と情報構造
- 英語教材研究(4)Eラーニング、ICT教育
- 音声言語指導 リスニング・スピーキング(やり取り・発音)の指導
- 音声言語指導 リスニング・スピーキングの授業展開、ティーミング

- 12 書記言語指導 リーディング・ライティングの指導
- 13 言語能力の測定と評価(1)パフォーマンス評価等評価方法と評価基準
- 14 言語能力の測定と評価(2)テストの意義と作成上の留意点
- 15 総括 英語教師の資質と能力

### 授業の方法

講義のほかに発表を多く取り入れる。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点40%、発表点40%、レポート20%

### 欠席について

欠席・遅刻については一定の比率で減点する。

### テキスト

『新・グローバル時代の英語教育 ー新学習指導要領に対応した英語科教育法』 岡秀夫 編著 成美堂

### 参考図書

『中学校学習指導要領解説 外国語編【最新版】』(文部科学省)  
『高等学校学習指導要領解説 外国語編 英語編【最新版】』(文部科学省)  
その他、必要に応じて、随時紹介する。

### 留意事項

授業中の意欲、積極的な学習態度を評価する。課題発表に際しては、発表者と聞く側の学生が質疑応答を通して議論を深めること。

資格科目〈キッズ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
英語科教育法Ⅱ			13709	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
宮副 紀子	選択	2	私立中学高等学校教員(科目「英語」)			

### 授業の到達目標

中学校・高等学校における英語学習・指導の知識、授業指導の基礎及び異文化理解を、次に続く英語科教育法Ⅲ・Ⅳの授業との連携も視野に入れて徹底する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）、I（知性）、In（国際性）、E（倫理）を学ぶ。

### 授業の概要

学習指導要領における「3つの資質・能力」の養成を重要な柱と位置づけ、以下（授業計画）の具体的項目に関して教育法の鳥瞰図の全体像を示し、学生の自覚・理解を促す。

### 授業計画

- 1 はじめに:授業の概要について
- 2 学習指導要領の理解
- 3 英語の指導目標と内容
- 4 学習者の要因
- 5 言語習得の理論と諸問題
- 6 発音の指導
- 7 文字と綴りの指導
- 8 語彙表現、文法の指導
- 9 リスニングの指導
- 10 スピーキングの指導
- 11 リーディングの指導
- 12 ライティングの指導
- 13 言語技術を統合した指導
- 14 異文化理解
- 15 総括(複数領域を統合した言語活動の指導を中心に)、および期末評価

### 授業の方法

講義のほかに各自の発表を多く取り入れる。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

課題：講義のテーマによってはレポート作成を課し、講義中、あるいは個人指導においてフィードバックを行う。  
評価方法：平常点20% 発表20% レポート 30% 定期試験30%  
授業中の積極的な質疑応答を高く評価する。

### 欠席について

欠席・遅刻については一定の比率で減点する。

### テキスト

土屋澄男・広野威志『最新英語科教育法入門』 研究社

### 参考図書

白井恭弘『外国語学習の科学—第二言語習得論とは何か』(岩波書店)  
中学校学習指導要領解説 外国語編【最新版】(文部科学省)  
高等学校学習指導要領解説 外国語編 英語編【最新版】(文部科学省)  
その他、必要に応じて、随時紹介する。

### 留意事項

課題担当者は、発表の内容のみならず、プレゼンテーションの方法も工夫すること。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
児童文学	PC	17437	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
宮副 紀子／箕野 聡子	選択	2	私立中学高等学校教員(科目「社会」)(箕野) 私立中学高等学校教員(科目「英語」)(宮副)		

### 授業の到達目標

初等国語の一貫として、児童文学を学ぶことにより、文化におけるこども観を理解するとともに、文学作品の読解力を養うことを目的とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのI(知性)を養う。(箕野)

すぐれた児童文学は普遍的テーマを有しており、子どもだけでなく大人にも深い感動を与えてくれる。海外の代表的な児童文学を鑑賞することにより、様々な視点から文学を読解する力を養うことを目的とする。KAISEIパーソナリティのA(自律)とI(知性)、In(国際性)を養う。(宮副)

### 授業の概要

日本の近現代児童文学を取り上げる。日本の児童文学は、初めは大人の側に立ったものであった。そこには、発表当時の日本文化が反映され、大人が子どもに求めた理想がわかりやすい言葉で表現されている。児童文学がそのような観念から脱し、子どもの世界を獲得していく様子を考察する。(箕野)

英米の児童文学の文化と歴史を学びながら英米の代表的な児童文学作品について考察する。また英米以外ではフランスの1作品を鑑賞する。(宮副)

### 授業計画

- 1 巖谷小波「日本昔噺其一 桃太郎」
- 2 「金太郎」・「酒呑童子伝説」
- 3 宮沢賢治「銀河鉄道の夜」
- 4 有島武郎「一房の葡萄」
- 5 与謝野晶子「きんぎょのおつかい」
- 6 岡田淳「童退治の騎士になる方法」
- 7 日本の現代児童文学について
- 8 英米の児童文学の歴史
- 9 ルイス・キャロル『不思議の国のアリス』
- 10 ナーサリーライム(マザーグース)
- 11 L.M.オルコット『若草物語』
- 12 R.L.スティーブンソン『宝島』
- 13 L.F.ボーム『オズの魔法使い』
- 14 ペアトリクス・ポター『ピーターラビットのおはなし』と代表的な絵本

15 アントワーン・ド・サン＝テグジュペリ『星の王子様』

### 授業の方法

講義中心の授業である。必要に応じて映像鑑賞も行う。(箕野)  
講義と発表形式で授業を実施する。講義だけでなく、学生の発表、およびグループディスカッションにより授業をすすめる。(宮副)

### 準備学修

Web参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験(レポート)30%で評価する。また、毎回ノートの提出を求める。ノートは、次の週に教員が評価して返却する。(箕野)

平常点30% レポート(2回)50% 提出物等20%、で評価する。(宮副)

レポートは2回であるが、ミニレポートの提出も2~3回求める。

### 欠席について

規定に従う。

### テキスト

随時、プリントを配布する。(箕野)  
『英米児童文化55のキーワード』白井澄子、笹田裕子編著 ミネルヴァ書房、および、プリントを配布する。(宮副)

### 参考図書

必要に応じて、授業中に随時紹介する。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
子どもと言葉		17439	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
森 晴美	選択	1	公立幼稚園教員、私立保育所保育士		

### 授業の到達目標

(1) 人間の言葉の意義と機能では、人間の言葉の意義と機能を理解し、言葉の発達過程とその特徴について理解すること (2) 言葉に対する感覚を豊かにする実践では、言葉の感覚を豊かにする指導について基礎的な知識や、言葉の楽しさや美しさに気づき、言葉を育む基礎的に実践を身に付ける (3) 言葉を育て、想像する楽しさを広げる児童文化財と実践について、その意義について説明できるように、児童文化財を教材とした基礎的な実践を身に付ける。以上を目標とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのA(自律)とI(知性)を養う。

### 授業の概要

領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために必要な基礎的な知識を身に付ける。人間らしさの特徴でもある言葉の意義と機能を理解し、幼児の言葉を豊かに育み、言葉に対する感覚を豊かにする教材や実践に関する知識と技能を身に付ける。

### 授業計画

- 1 人間の言葉とその機能及び意義
- 2 子どもの言葉の発達過程
- 3 言葉に対する感覚を豊かにすることの重要性
- 4 言葉に対する感覚を豊かにする保育の実践(情報機器及び教材の活用を含む)
- 5 子どもの言葉を豊かに育む児童文化財とその意義
- 6 子どもの言葉を豊かに育む絵本・物語・紙芝居
- 7 子どもの言葉を豊かに育む教材を使った保育の実践(情報機器及び教材の活用を含む)
- 8 子どもの言葉による伝え合いと小学校教育への接続
- 9

### 授業の方法

講義とディスカッション、発表を取り入れる。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

レポートの提出や教材提出を求め、講義の中でフィードバックを行う。平常点50%、定期試験50%

### 欠席について

欠席1回につき2点減点、遅刻1回につき1点の減点とする。

### テキスト

文部科学省『幼稚園教育要領解説』平成30年 株式会社フレーベル館  
厚生労働省『保育所保育指針解説』平成30年 株式会社フレーベル館  
内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』平成30年 株式会社フレーベル館

### 参考図書

太田光洋、古相正美、野中千都『保育ニュー・スタンダード 保育内「言葉」一話し、考え、つながる言葉の力を育てる』2021年 株式会社同文書院 その他適宜配布する

### 留意事項

日頃から、絵本に親しみ読書量を増やすように努めること。